

自分の考えをグループ内で交流する学習活動

- ◇社会科「自然災害からくらしを守る～地震に備えよう～」：小学校4年
- ◇ねらい：避難する際には、様々な備えが必要であることを伝え合う。



◇ICTの活用により期待される効果

- ・自分の考えを整理し、互いの考えを共有することで、考えを深めたりまとめたりすることができる。また、学習の進め方を基に、主体的に学習を進めることができる。



- ◇使用する機能：画面共有、シンキングツール、カードの送信・提出・保存
- ◇使用するアプリ等：学習支援ソフト等

学習活動例

	活動内容	活用ポイント／留意点
導入	一斉 課題の確認 1 本時の流れと学習問題の確認	・事前にマニュアルを作成しておき、学習支援ソフト等を活用して学習の流れ等を確認する。
	課題：地震発生により学校に避難するとき、どのような備えが必要かを考えよう。	
展開	個別 考えの記入 2 既習経験を基に必要な「備え」について自分の考えを入力 ・自分の1日の生活を想定しながら避難生活に必要な物や事柄について考える。	・シンキングツールを使って、「昼、夜、朝」と3つの時間帯に区切る「Yチャート」上に入力する。
	グループ 考えの交流 3 グループでの話し合いとまとめ ・互いの考えを画面共有して、時間帯別や長期化したときのことを想定した備えについて意見の交流をする。	・話し合ったことを、事前に作成した共有ノート上にまとめるよう指示する。 ・必要に応じて、図書やインターネット等を用いて調べる。
まとめ	個別 振り返り 4 振り返り ・学習者用端末に振り返りを入力する。 ・振り返りを発表する。	・入力した振り返りから学びの成果を共有する。